

「第12回谷口雅春先生報恩全国練成会」に全国から102名が参加！

老いも若きも 魂浄まる練成会！

親子9組、夫婦6組！家族ぐるみでともどもに！（令和7年9月13日～15日）

練成会だより

準備号

令和7年11月1日

公益財団法人
生長の家社会事業団
〒186-0003
東京都国立市
富士見台2丁目39-1

敬老の日 感謝のサプライズ



80歳以上、感謝と敬意を込めて表彰



93歳の小野文子さんに、感謝のプレゼントを手渡す和田誠也君（3歳）

年齢を越えて「神の生命」輝き温かい雰囲気にも包まれた喜びの練成会となりました。その模様をお伝えします。

第12回谷口雅春先生報恩全国練成会は、ゲスト講師に北海道各地で教化部長をされた高倉俊治先生をお迎えして、開催されました。2日目はちょうど「敬老の日」にあたり、最年少の参加者が最年長の参加者に感謝のプレゼントを渡すサプライズイベントがありました。

敬老の日、感謝のサプライズ。80歳以上、感謝と敬意を込めて表彰。今年度の練成会では、敬老の日を 맞아、80歳以上の参加者を表彰しました。また、感謝のサプライズとして、最年少の参加者が最年長の参加者に感謝のプレゼントを渡すイベントも開催されました。

今回の乳がん（ステージⅣ）を治したという思いから練成会に参加しました。講話を聞き、聖歌を歌っている時に実相の御額のある前方から神様の温かな光が射してきて、自分たちを照らし包み込んでいるのを感じ、涙が流れてきました。

神奈川 和田 智世（39歳）

○真理を学び、行じ、
天皇国日本の使命と愛行に生きる



夫婦で
笑いの大会で優勝！
誠也君は特別賞に
（左：和田智世さん）

ゲスト講師高倉先生



「幸福を開く鍵」
- 心で運命を変える
の真理講話



先祖供養祭（招霊祭員）

今回の練成会に参加したことに、先祖供養の大切さを思い日々続けていくことを決めました。

先月末で、勤めていた会社を自己都合により退職することになり、自分の心をリセットして新たな次の道へ進むため、参加しました。幼少期から複雑な家庭環境で育ち、我慢することも多々ありました。大人になってからも親への感謝の意識が低く、ここ十年前ぐらいから、少しずつ感謝する気持ちが出てきました。

神奈川 西山 裕人（仮名）

○先祖供養を日々続けたい

の天皇国日本のために私が果たすべき使命。愛行にただ突き進んでいこうと決意出来ました。自分が乳がんにも現象的に罹ったのは、次のステージの使命に突き進むよう、神が導かんが為にそうだったのか、もしねないと思えてきました。具体的に実践したい事は、毎日神想観をし、続々甘露の法雨を読み、和顔・愛語・讃嘆の実践を家庭から始め、全ての人の実践していきたいと思います。

○家中を

感謝の言葉で一杯に

第10回から
連続参加！

京都 林田 みさ江（73歳）

一日目、木下先生のピアノの先生が「ありがとうございます」の感謝の言葉を書いた紙を家中に貼って感謝の心となり、運命が変わった話を聞いて、「ああ、これなら私にもできる」と嬉しくなりました。習字講座に通い始めたので、筆で書いて家中感謝の言葉で一杯にしようと思えました。

○亡くなった主人の

「実相円満」を唱えて

神奈川 小島 恵子（70歳）

実相円満誦行では、家族と自分の実相円満を唱えておりましたが、ふと、亡くなった主人の実相円満を唱えたとき、主人が青空に飛んでゆく姿が浮かびました。

ありがとうございます

ありがとうございます

実相円満完全



実相円満誦行の様子

○浄心行に涙があふれて

神奈川県 和田 浩幸 (38歳)

浄心行で國弘先生が「お父さん、ありがとうございます」「お母さんありがとうございます」と唱えられ、涙があふれてきました。



私が練成会に参加しようと思ったのも、妻の現象世界の病があり、それを必ず治ると言って下さった職場の先輩の言葉があったからであり、さらには父母がいっも私を支えてくれた

いたからだ。目を

つむって行じていると、父母の温かな表情が心に浮かんでき

ました。周りの人から与えられた愛念に、心から感謝し生きていくことでどれだけ力が湧いてくるのか実感



浄心行の様子

○93歳、毎日が地上天国

群馬 小野 文子 (93歳)

今回も参加し、種々と勉強させていただき、今後も健康で色々の地での練成会に参加出来ます事を目的の地での練成会にしたいと思います。多くの方々のお世話になり、本当にありがたく嬉しく思い、毎日が地上天国に居る様なありがたい生活をさせて頂いています。



○祈り合いの神想観で祈りが叶う！

笑いの大会で敢闘賞！



福島 鈴木 文隆 (32歳)

今回参加しようと思ったのは先生方と皆様にお礼を申し上げたくて来ました。

今年の1月31日から2月2日、第10回の練成会の時に、「祈り合いの神想観」で

職場の不妊治療をされていた先輩の安産を先生方と皆様に祈っていたんだ

ですが、あれから7ヶ月経ったんですけど、先輩は3月にご懐妊されました。2月に

祈っていたら、妊娠が決まったのは3月だったそうです。驚きました。もう

衝撃で。祈りの力は本物だと思っています。本当に嬉しかったです。ありがとうございました。

○「笑い」で芽生えた優しい心

千葉 浜崎 誠司 (仮名)

笑うことで自分に内在する優しさが芽生えてきた。妻への懺悔が目的であったが、許してもら

うことにより、自分が妻になにか優しく

できることを具体的に実践していき

たい。相手に与える事が大切である

と思いました。



笑いの大会の様子

まるで実家に帰ってきたような大安心の練成会

今回初めて運営委員を
された浅野さん

○懐かしい場所に

帰ってきたようなお世話を！

埼玉 浅野 浩明 (60歳)

会場への案内では、初めての方には懇切丁寧に、ベテランの方には懐かしい場所に帰ってきたようなご案内を心がけました。

○笑いが楽しかった！

で合掌して
親子参加者を歓迎



(右：武義さん)

神奈川県 桑原 武義 (45歳)

笑いが楽しかった。写真が楽しかった。お弁当が楽しかった。お菓子とお茶も。

○実家のような安心感

愛知 鈴木 貴翔 (24歳)

久しぶりに参加させていただき不安もありましたが、皆さんにとっても優しく接していただいて、実家にいるような安心感がありました。



おばあちゃんと一緒に参加

○90才の母への感謝の思いで

神奈川県 瀬川 功子 (62歳)

今回の練成会で「敬老の日」の感謝の集いで、母にプレゼントをいただき、ありがとうございました。「祈り合いの神想観」では母のことを



いつも親子で仲良く参加



祈らせていただけたのも感謝です。自分が大変な時両親に助けてもらったので、今はお返しに90歳の母を何度も練成会に連れてきてあげられたらと願っております。母は皆さんにお声をかけていただきとても嬉しうで。それが又ありがたいことでした。

編集後記

谷口雅春先生報恩全国練成会は、この度の第12回で7年目を迎えました。参加者は延べ千四百人を超え、毎回参加されて運営委員とも顔なじみになる方々も増えて参りました。それでこの度、報恩練成会に参加された方々が、今後ともお互いに深い繋がりを持てますようにと、「練成会だより」を発刊する運びとなりました。

「練成会だより」を通じて、参加者そして運営委員の皆さんが人間神の子の輝く真理のもと「家族」のように互いに支え励まし合える誌面を作って参りたいと考えております。今回はその準備号として出させていただきます。そして練成会の参加者をもっともっと増やして、谷口雅春先生に報恩の人類光明化運動、日本国実相顕現運動が益々前進しますよう、頑張ってください。

(百地 雅宏)

(次回)
第13回
谷口雅春先生報恩
全国練成会のご案内

1月30日(金)
2月1日(日)

お申し込み
QRコード

